

東北のなかま

発行 生協労連東北地連

10年1月22日 09年度6号

電話022-236-9651

FAX 022-283-0035

春闘組合学校開催

～ 自信を持てる職場にしよう～

2010年春闘組合学校が1月16日～17日に福島市の穴原温泉で開催され、東北14単組98名が参加をしました。16日は医労連の田中委員長に記念講演をいただきました。「民主党政権交代で政治とくらしはどう変わる！」と題して、医労連の取り組みの中で世論に訴えることで、さまざまな医療現場の改善を進めてきたことや、今の民主党政権において労働者をめぐる情勢がどの様に変化していこうとしているのか、労働組合としての取組の重要性をみんなで学びました。講演で「私の病院に来てくださいと言えるか」という言葉に、多くの参加者が考えさせら



医労連 田中委員長

れ、「自分の生協に買物に来て」と自信を持っていえるのかと、その後の各分散会でも大きな話題となりました。

生協労連からは盛本書記次長にお越しいただき、生協労連の2010春闘方針についてお話いただきました。分散会は

労組検定 みんな必死にチャレンジしています！



店舗・共同購入・本部・大学と業態別に分かれて、記念講演と生協労連の提案を受けて話し合い、さらに職場の実態について出し合い、労働組合としてどのように10春闘を取り組むのか討論しました。

2日目はこれまでの模擬団交に代わり、初めての取組みとして「労組検定」を行ないました。

今春闘では、生協労連の方針提起にあったように、法律遵守(コンプライアンス)が求められており、労働組合が理事会の運営の牽制機能を果たしていく上でも非常に重要と考えています。その一方で労働組合自体が労働法制をどのぐらい理解をしているかも含めて、再度学習を強めていく必要があるとして、労基法・労働組合法・労働契約法・パート法・労働安全衛生法といった活用機会が多い労働法制の学習会「労組検定」と称して、試験を行ないました。初めての労組検定に苦勞し、100点満点の成績を収める優秀者(1名のみ!)も現れ、春闘での法律の活用が大きく期待された春闘組合学校でした。

最後に生協労連東北地連から春闘方針がされ、東北地方の事業状況は厳しい状況が続いているので、労働組合に結集し、生協運動と労働条件の向上のために2010年春闘を頑張っていくことを確認しながら、団結頑張ろうで閉会し終了しました。



地連からお知らせ

各単組で要求を提出したら地連にも要求書を送ってください。